


文化庁活動の地域連携や地域文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

令和5年度予算額 370百万円
 (前年度予算額 304百万円)
 令和4年度第2次補正予算額 370百万円 

背景 課題

休日の文化庁活動の段階的な地域連携・地域移行と、地域における文化芸術環境を整備し、地域の実情に応じた全国的な取組を推進する。



芸術に親しむ機会

少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちが文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。

学校教育の質

学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。

新しい価値の創出

自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。

多様な体験機会

地域の実情に応じた持続可能な多様な文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。

事業内容

I. 部活動の地域移行等に向けた実証事業等 (140百万円)

(1) 部活動の地域移行に向けた実証事業

※ 関連：伝統文化親子教室事業

関係者との連絡調整・指導助言等の体制や指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

〈取組例〉



体制構築

- 関係団体・市区町村等との連絡調整
- コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方



指導者の質の保障・量の確保

- 人材の発掘・マッチング・配置
- 平日・休日の一貫指導



関係団体・分野との連携強化

- 文化芸術団体、大学、企業等
- まちづくり・地域公共交通



面的・広域的な取組

- 多くの部活動の移行
- 市区町村等を越えた取組



参加費用負担支援等

- 困窮世帯の支援
- 費用負担の在り方



学校施設の活用等

- 効果的な活用や管理方法等

(2) 地域文化クラブ推進事業

文化庁活動のうち、休日の活動日数・時間が多い吹奏楽部等に対して、子供たちが身近な地域で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、全国的な規模の文化芸術団体等を中心として地域移行等の課題へ取り組む実証事業を実施する。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援事業 (230百万円)

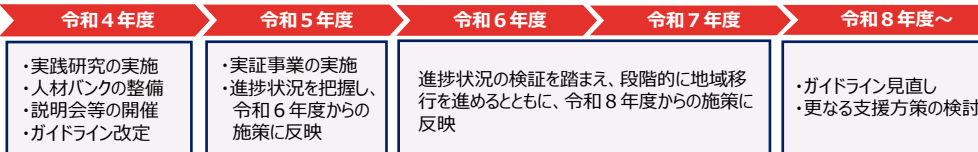
各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とする。

※ 補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3
 ただし、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3

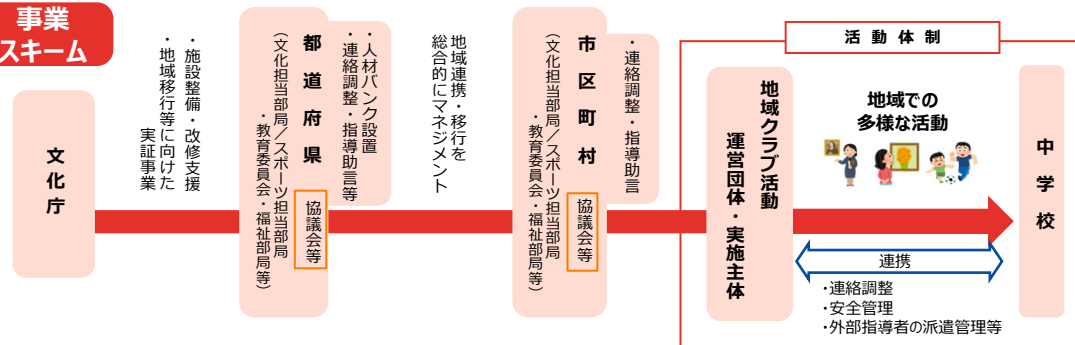
方針

体制構築・環境整備※ 改革推進期間 地域クラブ活動の充実

※ 国は、必要に応じて関連制度の改善・運用の見直しなど、円滑な地域移行に向けた環境整備を推進する。



事業スキーム



※ 本資料における「文化芸術」には障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む。

アウトプット (活動目標)

令和5年度 実証事業	都道府県	47件程度
	市区町村	90件程度
部活動指導員		2,052人配置

アウトカム (成果目標)

- ・教員の部活動指導にかかる負担軽減
- ・部活動に代わりうる多様な文化芸術活動の創出
- ・学校に閉じない多様な人間関係の構築

インパクト (国民・社会への影響)

- ・学校教育の質の向上
- ・地域の文化芸術活動の活性化
- ・豊かな人間形成の促進